

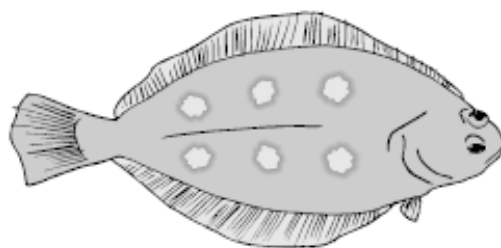
ムシガレイ

日本海海域

Eopsetta grigorjewi

地方名

さいべ、さんとかれい(八戸)、みずがれい、みずくさ、みずくさがれい(陸奥湾、日本海)



生態

寿命：約7歳

成熟：オス2歳(体長14.4cm)以上、メス3歳(体長20.5cm)以上。

産卵期：4月～6月

産卵場：水深100m以浅の砂泥域。

分布：サハリン、千島から瀬戸内海、山陰地方

生態：分布は通常は水深200～250m以浅の砂泥域に生息。食性はエビ、カニ、イカ類、魚類など。

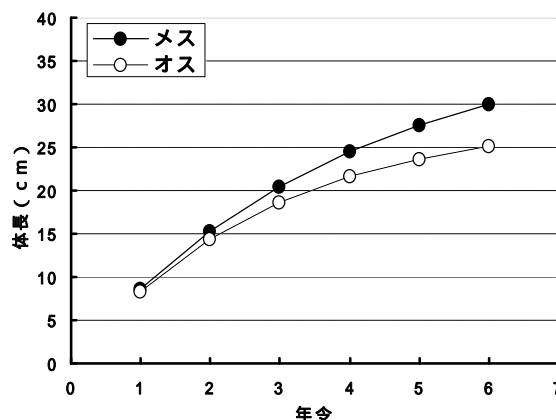


図 青森県におけるムシガレイの成長

主な漁業

底建網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は4月～5月。

資源評価

昭和40年代には日本海全体で100トンを超える漁獲量があった。平成5年以降、漁獲量は増加傾向にあり、平成19年は最も多い38トンであった。

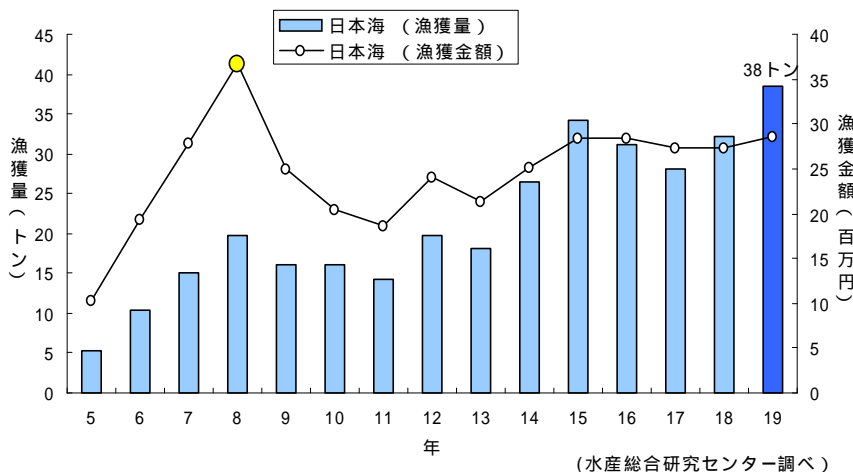


図 青森県ムシガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移



資源を上手に利用するために

資源管理計画(日本海海域平成11年3月)

- ・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合規制(3.5寸以上)の徹底が定められた。上記の取り組みを継続することが必要である。

トピックス

青森県日本海海域で実施した標識放流調査では、本県日本海から秋田県沖を回遊することが報告されている。